

## 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)研究成果報告書

平成24年5月21日現在

機関番号:14301

研究種目:基盤研究(A)

研究期間:2008年度~2011年度

課題番号:20242001

研究課題名(和文)『道蔵輯要』と明清時代の宗教文化

研究課題名(英文) Daozang Jiyao and Religious Culture in the Ming-Qing Dynasties.

研究代表者

麥谷 邦夫(MUGITANI KUNIO)

京都大学・人文科学研究所・教授

研究者番号:90114678

研究成果の概要(和文):

本研究の主要な研究成果は、以下の2点である。

(1) 電子版『道蔵輯要』。これは従来の紙に印刷された『道蔵輯要』の各種バージョンを細かい字体の相違なども含めて、それぞれの版面どおりに再現できると同時に、それらの比較考量から得られる標準的な新しいバージョンを電子的に形成できる画期的なものである

(2) 『道蔵輯要』所収文献についての詳細な解題。これは、『道蔵輯要』編輯の宗教文化的意義を、そこに収録された個々の文献の詳細な分析を通じて明かにするものである。

研究成果の概要(英文):

The project achieved two main outcomes:

1. The electronic version of "Daozang Jiyao".

It reproduces the old paper-based versions of "Daozang Jiyao", with accurate replication of each glyph or phrase according to the master copy. It also enables to produce a new standard version of "Daozang Jiyao" by comparing the old versions electrically.

2. Bibliographies of each text of "Daozang Jiyao".

We verified religious and cultural significance of "Daozang Jiyao" in Qing dynasty through studying bibliographic data and history of each text in "Daozang Jiyao".

交付決定額

(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合計
20年度	13,400,000	4,020,000	17,420,000
21年度	9,800,000	2,940,000	12,740,000
22年度	9,600,000	2,880,000	12,480,000
23年度	9,700,000	2,910,000	12,610,000
年度			
総計	42,500,000	12,750,000	55,250,000

研究分野:人文学

科研費の分科・細目:哲学・中国哲学

キーワード:道蔵輯要・宗教文化・道教

## 1. 研究開始当初の背景

本研究は、中国の道教、特に明清時代のそれに焦点を当て、中国における宗教文化のあり

かたを解明することを目指すものである。中国文化の総体を理解するためには、道教の果たした役割の解明が不可欠であることはいうまでもないが、従来、日本における関心は主に六朝隋唐期の

道教に注がれてきており、明清以降の状況についての科学研究は緒に就いたばかりである。この時期の道教への関心の欠落は、明清という最後の二王朝において、道教は衰退しその役割を終えつつあったとする見解が一般的であったことに由来する。しかし、14世紀から19世紀の間に、道教が活発に活動して生み出してきた多数の経典やその影響下にもたらされた文化的宗教的变化の大きさを考えるとき、こうした従来の見解は著しく妥当性を欠くものであるといわなければならない。例えば、明の正統10(1445)年に刊行された道教の一切経である『正統道蔵』、それに続く『万暦続道蔵』、さらには、清代乾嘉年間に刊行された『道蔵輯要』などは、まさにこの「衰退期」と呼ばれる時期に出版されている。本研究では、『道蔵輯要』に集成された多様な経典群の文献学的な研究の基礎の上に、その宗教的文化的影響を明かにし、従来「衰退期」といわれてきた明清道教の再評価を行うことを主要な目的とする。同時に、近代社会への移行期において、道教がいかに変化し、また変貌する社会においていかなる役割を果していったのか。その主要な教義、宗教的視点、その目指すところはいかなるものであったのか。これらの点もあわせて解明することによって、今日の中国を理解する手懸りを得ることをも視野に入れている。

本研究が主要な対象とする『道蔵輯要』は、『正統道蔵』以降の最も重要な道教経典集であり、明清道教の真髄を伝える主要な経典を選択集成したものである。しかし、『正統道蔵』やそれ以前の「道蔵」が王朝の援助のもとに、教団と国家との関係によって編纂されたものであったのに対し、『道蔵輯要』は高級官僚たちが独自に主導した成果であるという大きな違いがある。300余種の経典類を収容する『道蔵輯要』は、清代の道教経典集としては群を抜いて大規模なものであり、教理、思想に関する経典はいうに及ばず、儀礼や煉丹に関する経典から、儒仏道三教の古典への注釈、碑文、地誌、伝記などの広汎な文献資料を包括している。この点からも、『道蔵輯要』の総合的研究は、明清時代の宗教文化を知るうえで極めて重要な意味を有する。しかしながら、『道蔵輯要』は国内外を問わず体系的な研究の対象とされてこなかったため、今日に至るまで研究の基盤となる総合的体系的な目録ないし解題すら作られてこなかった。本研究は、こうした明清時代の宗教文化研究の弱点を克服するための一助となることを目指すものである。

## 2. 研究の目的

我々の最終目的は大きく四つに分けられる。一つは、『道蔵輯要』各版の間の異同をマークアップした電子化されたテキストの作成。この電子化されたテキストは単なるテキスト・データではなく、必要に応じて各版の版面や細い字體の相違

に至るまでをそのまま復元できるとともに、各版の比較考量の結果としての標準的なテキストを提示できるような、柔軟性に富みかつ研究者の学術的な要請にあらゆる面から答えられるものである。第二は、こうして作成された標準テキストに基く新たな『道蔵輯要』の出版である。第三は、『道蔵輯要』に収録される道典のカタログと各道典についての詳細な解題の作成および英文と中文による解題目録の出版である。第四は、『道蔵輯要』に収録される多くのテキストの研究を通じて、明清時代の宗教文化の諸相を解明する手掛かりを得ることである。本研究では、これらの最終目標のうち、まづ、第一と第三の目標達成を優先することとした。

## 3. 研究の方法

『道蔵輯要』電子化テキストの作成については、『道蔵輯要』のテキストの特性に応じた最善の電子化方法を研究・開発する必要がある。この作業には様々な困難が伴ったが、漢籍の電子化に附随する多様な問題点とその解決方法という廣く中國學一般にも適用可能な斬新な方法論を提示するとともに、それを実際に應用することによって、『道蔵輯要』の電子化實現に具體的な道を開くことを目指した。同時に、『道蔵輯要』収録経典について、詳細な点校作業を行うことによって、その書誌的情報や内容分析についての基礎的知見の獲得を進めることにした。

次に、『道蔵輯要』に収録される多くのテキストの研究を通じて、明清時代の宗教文化の諸相を解明するために、国内外の多数の研究者の協力を得て、『道蔵輯要』収録道典の詳細な解題を作成し、その過程で明清時代の宗教文化における『道蔵輯要』の位置付けを明らかにすることにした。しかし、四年という短期間に多数の協力者から無償の原稿を集め、それを翻譯して完全な形に編輯することは極めて困難であることが豫想されたため、本研究ではとりあえず『正統道蔵』未收の道典(蔵外テキスト)を中心に解題をとり纏め、『正統道蔵』と重複するものについては一部を除いて將來に委ねることにした。

## 4. 研究成果

『道蔵輯要』電子化テキストについては、廣く中國學一般にも適用可能な斬新な方法論に基く電子版テキストを完成させた。この電子版テキストには、多彩な内容が含まれている。第一に、現代の讀者にすらすらと読みやすく分かりやすい現代版を作成することであり、索引を付したり、検索したり、分析したりできるようになった。第二に、現代に承継されてきた原典テキストと、その歴史の全てを研究する編集文獻學の最新の成果を取り入れられるものにしたことである。その結果、一つの原典から多くの具體的な版を次々に創造することを可能にした。また、電子版による

編集は紙に印刷された書物のように固定されるのではなく、むしろ『道藏輯要』を雙方向で研究するための道具として有効に機能するように設計された。本電子版は、20世紀初頭に四川で復刻された重刊『重刊道藏輯要』を編纂の典拠としている。他のすべての版はこの版の文献項目、ページ、行、文字位置などを参照する文献として組込まれ、些細な字体の相違やテキストの異同など、現行の文字コードベースの編輯ツールでは到底処理しきれないような問題を適切に処理できるようになった。これを利用することによって、今後の『道藏輯要』研究に畫期的な進展を齎すであろうことが期待できる。同時に、この成果を応用することによって、他の複雑なバージョンを有する大型の叢書をはじめ、多くの漢籍の電子化に画期的な進展を齎すことが期待できる。

『道藏輯要』収録道典の詳細な解題については、国内外の多数の研究者の協力によって、全体の約半数にあたる92テキストについての解題を完成させ、成果報告書として刊行した。その詳細は以下のとおりである。

『元始天尊說無上内秘眞藏經』『元始說先天道徳經註解』『元始大洞玉經』『大乘妙林經』『元始天尊說藥王救八十一難眞經』『太上大道玉清經』『太上中道妙法蓮華經』『洞玄靈寶自然九天生神章經解義』『洞玄靈寶自然九天生神玉章經解』『洞玄靈寶自然九天生神章經注』『太上洞玄靈寶開演秘藏經』『太上赤文洞古經註』『太上大通經註』『太上老君内日用妙經』『太上老君外日用妙經』『太上老君說了心經』『太上内丹守一眞定經』『太上老君内丹經』『太上妙始經』『枕中經』『太上老君太素經』『太上黃庭内景玉經』『黃庭内景經』『黃庭外景經』『太上洞眞賢門經』『高上玉皇本行集經』『太上洞玄靈寶紫微金格高上玉皇本行集經闡微』『先天斗帝敕演無上玄功靈妙眞經』『九皇斗姥戒殺延生眞經』『玄宗正旨』『唱道眞言』『中天紫微星眞寶讖』『五百靈官爵位姓氏總錄』『南華眞經註疏』『洞靈眞經』『太極葛仙公傳』『銅符鐵券』『太上靈寶淨明宗教錄』『化書』『葛仙翁太極沖玄至道心傳』『呂祖本傳』『金華宗旨』『呂帝文集』『呂帝詩集』『純陽三書』『呂帝聖蹟紀要』『天仙金丹心法』『悟眞篇三注』『悟眞篇拾遺』『金丹四百字』『悟眞篇闡幽』『瓊瑯白眞人集』『海瓊白眞君語錄』『重陽全眞集』『重陽教化集』『重陽分梨十化集』『立教十五論』『五篇靈文』『長春眞人西游記』『礪溪集』『仙樂集』『無為清靜長生眞人至眞語錄』『水雲集』『洞玄金玉集』『漸悟集』『丹陽神光燦』『丹陽眞人語錄』『孫不二元君法語』『孫不二元君傳述丹道祕書三卷』『太古集』『雲光集』『金液還丹印證圖詩』『仙佛合宗語錄』『天仙正理直論』『天仙正理直論淺説』『金丹要訣』『伍眞人丹道九篇』『張三丰先生全集』『鳴鶴餘音』『養眞集』『雲笈七籤』『玉詮』『眞詮』『心傳述證錄』『太極圖説』『通書』『皇極經世書』『擊壤集』『陰鸞文註』『太

上老君戒經』『神功妙濟眞君禮文』『華蓋山三仙眞經』

これらの解題の執筆を通じて、『道藏輯要』の編纂過程および四川における明清時代の道教を中心とする宗教文化の実態についての解明が進んだ。具体的な内容については、研究分担者の発表論文および成果報告書を参照されたい。なお、本研究が完成できなかった残りの解題については、香港中文大學道教文化研究中心がその作業を継承し、完成出版を目指すことになっている。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計9件)

- ① 麥谷邦夫、關聖帝君前史、關帝信仰與現代社會國際學術暨皈依科儀研討會會議論文集』、査読なし、2012、1-12
- ② ESPOSITO, Monica、清代道教における三教の寶庫としての『道藏輯要』、三教交渉論叢續編、査読なし、2011、431-470
- ③ WITTERN, Christian、道藏輯要の編纂と電子化をめぐる諸問題、三教交渉論叢續編、査読なし、2011、471-500
- ④ WITTERN, Christian、デジタル漢籍の新しいテキストモデル、東方學報(京都)』、査読あり、85、2010、543-554
- ⑤ ESPOSITO, Monica、清代全眞教之重構：閱一得及其建立龍門正統得意願、探古監今—全眞道の昨天、今天與明天國際學術研討會論文集、査読なし、2010、6-8
- ⑥ ESPOSITO, Monica、清代道藏—江南蔣元庭本《道藏輯要》之研究、宗教學研究、査読あり、2010-1、2010、17-27
- ⑦ ESPOSITO, Monica、“The Daozang Jiyao Project: Mutation of a Canon” Daoism: Religion, History and Society、道教研究：宗教、歴史與社會、査読あり、第1期、2009、95-153
- ⑧ ESPOSITO, Monica、一部全眞道藏の發明：《道藏輯要》及清代全眞特徵」、問道崑崙山、査読なし、2009、303-343
- ⑨ ESPOSITO, Monica、“The Daozang jiyao Project and the Future of Daoist Studies.”、“New Approaches to the Study of Daoism in Chinese Culture and Society.”、査読なし、2009、26-28

[学会発表](計2件)

- ① 麥谷邦夫、關聖帝君前史、關帝信仰與現代社會國際學術暨皈依科儀研討會會、

- 2011、台中  
② ESPOSITO, Monica、清代全真教之重構：闕一得及其建立龍門正統得意願、探古監今—全真道の昨天、今天與明天 國際學術研討會、2010、香港

[図書](計1件)

① 麥谷邦夫篇、科研報告書『『道藏輯要』と明清時代の宗教文化』、2012、450

[その他]

ホームページ等

<http://www.daozangjiyao.org>

<http://dao.zinbun.kyoto-u.ac.jp/dzjy>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

麥谷邦夫 (MUGITANI KUNIO)

京都大学・人文科学研究所・教授

研究者番号: 90114678

### (2) 研究分担者

エスポジト・モニカ (ESPOSITO, MONICA)

京都大学・人文科学研究所・招聘外国人学者

研究者番号: 60362399

ウィッターレン・クリスティアン (WITTERN, CHRISTIAN)

京都大学・人文科学研究所・准教授

研究者番号: 20333560

船山徹 (FUNAYAMA TORU)

京都大学・人文科学研究所・教授

研究者番号: 70209154

古勝隆一 (KOGACHI RYUICHI)

京都大学・人文科学研究所・准教授

研究者番号: 40303930

金志珉 (KIM JIHYUN)

京都大学・人文科学研究所・助教

研究者番号: 20553473

### (3) 海外研究協力者

林富士 (LIN Fushi)

中央研究院・歴史語言研究所・研究員

李遠国 (LI Yuanguo)

四川省社会科学院・哲学研究所・研究員

郭武 (GUO Wu)

四川大学宗教学研究所・教授

ヴェレレン、フランシスカス (VERELLEN, Franciscus)

フランス国立極東学院・院長

ボルツ、ジュディス・マギー (BOLTZ, Judith

Magee)

ワシントン大学・アジア言語文化学部・教授